

2020 年度第 2 回釧路孝仁会記念病院特定認定再生医療等委員会記録

日時 令和 2 年 12 月 26 日（日）14：00 ～15：30

場所 釧路孝仁会記念病院 6F 会議室

釧路市愛国 191 番 212

委員会成立の確認

出席委員は以下のとおり

	氏名	性別	構成要件	設置者との利害関係	出欠
委員長	瀬上 清貴	男	⑦	無	◎
委員	横山 繁昭	男	①	有	×
	端 和夫	男	②	無	○
	佐野 俊二	男	②	無	×
	齋藤 孝次	男	③	有	◎
	大星 茂樹	男	④	無	○
	杉本 弘文	男	④	有	◎
	稲澤 優	男	⑤	有	×
	栗屋 剛	男	⑥	無	○
	古川 和	女	⑧	無	○
	金谷 恵子	女	⑧	有	×
	丸山 時己子	女	⑧	無	○
	逢坂 千恵子	女	⑧	無	◎

◎出席 ○オンラインでの出席 ×欠席

構成要件：①分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家

② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者

③ 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）

④ 細胞培養加工に関する識見を有する者

⑤ 法律に関する専門家 ⑥ 生命倫理に関する識見を有する者

⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者

⑧ ①～⑦以外の一般の立場の者

成立要件（省令第 64 条）1～6 に基づき委員会の成立を確認した。また、議事録署名人として杉本委員を選出した。

## 議 題

### 1. 定期報告

2018年10月23日に提出された提供計画についての審査

申請者：医療法人社団 木津歯科

理事長 木津 康博先生

「歯科治療における脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた顎骨・粘膜再生」

（計画番号：PB3170030）

別紙様式第三および期間中の6名の症例報告がスライドを用いて具体的に行われ、提供計画に従って、適切に実施されていることを確認した。

以下は委員からの意見

（端委員）CT値ではコントロール群においても上顎、下顎ともに上昇しているように見えますがいかがでしょうか

（申請者）骨のないところに骨補填材を入れるため、コントロール群でもグレースケール値（CT値）は上がります。3～6ヶ月後にインプラントを埋入するため、その期間でADRCsを投与した群の骨量がコントロール群と比較して有意に高いレベルまで増加するのが理想です。

（大星委員）組織学検査のことですが、ADRCsが骨に変化し形成されるのか、自分の骨を誘導して形成されるものなのか、どちらなのでしょう

（申請者）この件については、明確な回答を示す論文がでていないので、はっきりしたことは言えませんが、私見としては骨補填材とADRCsが足場をつくり、患者自身が持っている増骨組織（間葉系幹細胞）をそこへ誘導するのではないかと考えています。

（古川委員）治療成績をみて、驚いています。私も今後、この治療を受ける必要がでてくるのではないかと考えています。

（申請者）以前から実施している腸骨を採取して移植する方法は、患者さんにとって侵襲の大変大きな手術なので、なるべく侵襲が少ない治療をと考えて、現在はこの治療を行っています。今後は骨欠損を伴った重度な歯周病治療への応用も目指し、口腔疾患に広く用いて行くことが患者にとって有益と考えています。

（丸山委員）欧米人と日本人で治療効果に違いは出るものですか

（申請者）この治療は日本人を対象に実施しているので、欧米人との比較については論文の報告との比較を考えています。ただ、当院では通常の診療で外国人の治療も行っていますが、日本人よりも明らかに骨の密度が高いので治療効果にも違いは出てくると思います。

（丸山委員）そうですね。この治療の結果は素晴らしいと思いますが、高価なので躊躇してしまいますね。

（申請者）今後は多くの口腔疾患にこの治療を使えるようにできないかと考えています。その場合には治療費も安くできると思われ

（委員長）他に気がついた点としては配布資料の5.結果の安全性を示した箇所にも細胞生存率が規定数に適合している旨の文章も記載した方がよいと思います。

ほかにご意見がなければ、当委員会全体としては「本提供計画は適切に実施されており、今後、さらに症例を重ねていただきたい」というご意見になると思われ

でしょうか。

(全委員) 異議なし。

(委員長) それでは継続を「適」とした意見を提出したいと思います。

(全委員) 賛成

以上